

知立駅周辺エリアプラットフォーム 令和 8 年度事業計画

1. 活動方針

令和 8 年度は、策定された「知立駅周辺エリア未来ビジョン」をもとに、より取り組みの積極的な具体化、多様なプロジェクトの推進・実現とエリアプラットフォーム体制の強化に向けた議論を推進する。具体的には、これまでの部会の議論を踏まえ、エリアプラットフォームとして取り組みを強化するテーマとして「商業集積」と「まちづくり組織体制構築」の 2 つを取り上げ、部会議論で具体化を目指す。また、率先プロジェクトを実行プロジェクトと名称変更し、新たに 1 つのプロジェクトを追加して情報発信の強化を行うとともに、各プロジェクトの成果を創出する。

2. エリアプラットフォームの運営

(1) 検討会議の実施（3 回程度）

エリアプラットフォームの意思決定組織として、部会や実行プロジェクト等の報告を受け必要な議論や決議等を行う検討会議を 3 回程度開催する。各回の議題案は以下の通り。

回	開催時期	実施内容
第 1 回 (書面)	5 月	・ 事業計画案の承認
第 2 回	7 月	・ 各事業・プロジェクトの進捗状況の共有等
第 3 回	1 月中旬	・ 今年度の活動の検証と次年度の取組について

(2) 部会活動の実施

エリアプラットフォームの活動内容を円滑に進めることを目的に、設立された商業戦略部会（仮称）、情報発信部会、組織体制検討部会の 3 部会について、各部会を 2～3 回程度開催する。部会で検討した活動内容は、検討会議で報告し、実践する。

① 商業戦略部会（仮称）

目 的：昨年度までビジョン検討部会で議論された内容に基づき、とりわけエリアの多様な商業集積を後押しするための具体的な取組の内容及び実施体制を議論する。

参加者：知立市商工会、知立市商工会青年部、株式会社藤田屋、株式会社 FUJI、名古屋鉄道株式会社、知立まちづくり株式会社など

【令和 8 年度の取組】

- ・ エリアにおける商業集積を実現するための具体的取組とその実施体制に関する議論
- ・ 他地域の先進事例などの共有や勉強

② 情報発信部会

目 的：知立駅周辺整備事業及び未来ビジョンについて、市民及び市内外の関係者に広く周知を行い、シティプロモーションを行うための戦略や取組を検討する。

参加者：知立まちづくり株式会社、一般社団法人ゆめナビジャパン、株式会社キャッチネットワークなど

【令和 8 年度の取り組み】

周知方法やシティプロモーションを行うための戦略や取り組みについての継続的な議論

③ 組織体制検討部会

目 的：持続的なまちづくりの展開に向けた体制について検討を行い、今後のまちづくり体制構築に向けた準備を始める。

参加者：知立まちづくり株式会社など

【令和 8 年度の取組】

- ・ 概ね 3 年後を見据えた活動計画の立案や組織体制のあり方についての継続的な議論
- ・ まちづくり組織構築のための試行や体制強化の検討

(3) 他地域の視察

上記の各部会での議論促進のため、会員有志によりまちづくりの先進地等への視察やヒアリングを実施する。

(4) 勉強会の開催

知立駅周辺整備事業及び未来ビジョン等について、市民等への活動の周知や情報発信の機会、およびエリアプラットフォーム会員が各地の様々な取組を学べる機会として、エリアプラットフォームの勉強会を開催する。

項目	内容
時期	令和 8 年 11 月ごろ、令和 9 年 3 月ごろの 2 回
目的・ねらい	・ 他地域の先進事例などまちづくりに関する外部講師による講演 ・ エリアプラットフォーム活動の紹介・報告

3. 実行プロジェクトの推進

(1) 駅前暫定広場の利活用プロジェクト

将来の駅前広場や公園のあり方、賑わいづくりにおいて必要な設備等を検討するため、引き続き駅前暫定広場において多様な利活用や居場所づくりを実証し必要な環境を検証

【令和 8 年度以降の議論や取組】

- ・ 暫定広場の利用・管理ルールの見直しによる、より快適かつ安全な利用が可能な仕組みの検討
- ・ アンケート結果の分析による利用料の徴収など持続的な運営体制の検討

(2) まちなか事業者誘致プロジェクト

知立駅周辺エリアにおける商業や生活サービス、業務機能の集積に向け、エリア内での起業や出店の支援を行うとともに、エリアにおける出店ニーズや課題を把握・分析

【令和 8 年度以降の議論や取組】

- ・ 引き続き補助金等の積極的な広報による問合せや新規出店の増加促進
- ・ 問合せ件数や補助件数が一定数集まった段階で、その内容の分析及び施策の改善を検討

(3) まちなか実証実験プロジェクト

スタートアップ企業等が魅力的に感じるまちを実現するため、様々な新技術や新サービスの実証実験を行いやすいまちとして、必要な環境を整えるための準備や実証実験の推進

【令和 8 年度以降の議論や取組】

- ・ これまでの実証実験の取組プロセスを基に様々な新技術の実証実験の受入れ環境を検討

(4) 東海道まちなみ修景プロジェクト

訪れる人が少しでも歩いて楽しいと感じられる通りを目指して、沿道の多様な主体との連携や建物活用を通じて、東海道らしいまちなみへの修景を推進

【令和 8 年度以降の議論や取組】

- ・ 問屋場跡地の移設や路面標示の設置について協議や具体化を進め、整備を実施する。
- ・ 空き店舗や空き家活用について議論を行い、取組の可能性について検討を行う。

(5) 公共空間デザインプロジェクト

新しく整備される道路や公園、駅前広場等の公共空間の計画やデザイン検討を通じて、西三河、そして知立市の玄関口にふさわしい景観づくりを推進

【令和 8 年度以降の議論や取組】

- ・ 引き続き活動団体との協議を重ね、知立駅前にふさわしく利用しやすい広場や公園などの公共空間デザインの実現を検討する。

(6) 駅前情報発信プロジェクト

駅前に新しく設置するデジタルサイネージ等を通じて情報発信を積極的に実施することで、エリアの価値向上を推進

【令和 8 年度以降の議論や取組】

- ・ 駅前に設置するデジタルサイネージに流すコンテンツの準備等

4. 予算計画案

令和8年度の収入および支出の予定は以下の通り。

(収入)

(単位：千円)

科目	予算額	説明
1 前年度繰越金	2,501	
2 負担金		
知立駅周辺エリアプラットフォーム負担金	9,046	知立市からの負担金
3 国庫補助金		
官民連携都市再生推進事業費補助金	1,000	
合計	12,547	

※官民連携都市再生推進事業費補助金を交付申請予定。

(支出)

(単位：千円)

科目	予算額	説明
1 事業費		
知立駅周辺エリアプラットフォーム事業アドバイザー業務委託料	6,655	委託内容 ・ 検討会議の開催 ・ 部会の運営実施 ・ 率先プロジェクトの企画運営 ・ 勉強会の開催 等
デジタルサイネージ設置等事業費	1,891	
東海道まちなみ修景整備等事業費	4,001	
合計	12,547	